

中等4年(高校1年)「倫理」ノート総括①

新井

◆テーマ1 ディベートに取り組み

1-1 ディベートとは

一つの論題について、二つのチームに分かれて行う討論ゲーム

1-2 ディベートまでの手順

- ① チーム作り…4人で1チーム ペアを作る
- ② 論題の選択とサイド決め…次の論題のなかから一つ選ぶ
- ③ リサーチ…図書館、ネットから討論に必要な調査を行う。
- ④ プレゼン準備…チームの主張をA4、1枚にまとめる
- ⑤ ディベートの実施

1-3 論題一覧(このなかから選択すること、重複はさける)

| | 論題と論点 | チーム | 実施日 |
|---|---|-----|-----|
| 1 | 安楽死は認められるべきだ：賛成 vs. 反対 人間には自己決定権、所有権があります。そうすると自分の命は自分で決めて構わないことになります。それは可能か、許されるべきか。自殺の権利とからめて生命倫理の問題として考えましょう。 | | 月 日 |
| 2 | 原子力発電は必要だ：賛成 vs. 反対 福島第一は世界の注目。それでも、脱原発にはむかいません。原発に依存しなければいけない現実があるからです。一つは電力、もうひとつは二酸化炭素。環境倫理とからめて議論してみよう。 | | 月 日 |
| 3 | 夫婦別姓を認めるべきだ：賛成 vs. 反対 家族がゆらいでいます。安否内閣では、女性は家庭に帰れという主張の人もあります。夫婦別姓はこれからの家族のかたちを決めるポイントの一つとなるでしょう。 | | 月 日 |
| 4 | 携帯・スマホは不要である：賛成 vs. 反対 情報の氾濫を管理できない時代になっています。小中学生不要論だけでなく、情報倫理の観点も入れて、携帯一般を視野に議論してみましよう。思想的にはデジタルで人間は幸福になれるかです。 | | 月 日 |

| | | | |
|---|---|--|-----|
| 5 | 愛国心教育をすすめるべきだ：賛成 vs. 反対 国際理解は文化相対主義が重要です。しかし、国家の存在あってこそこの国際理解という見解も有力です。現代における国家のありかたを愛国心教育から考えてみましょう。 | | 月 日 |
| 6 | 正義の戦争はある：賛成 vs. 反対 戦争許されぬ。しかし人類は戦争を続けてきた。宗教戦争ばかり、イラク戦争ばかり。理由は正義の回復である。戦争をなくすというのは虚妄なのか。原理的に考えたい。 | | 月 日 |

1-4 準備する項目

① 立論

そのテーマに関する事実の紹介

例：安楽死とは何か、それに対して、自分たちは(肯定・否定)の主張をする。その論拠は…。その際、可能な限り哲学者や思想との関連を入れること。倫理ディベートの重要な要素です。600字で用意。

② 論駁用

反論の準備

肯定・否定、それぞれ論拠を最低3つ(できれば5つ)用意する。

例：安楽死が許される理由もしくは許されない理由三つ

反対尋問用

相手がこんな論拠で討論をするだろう。それに対して、こう切り返すというシナリオ作り

例：肯定側(否定側)はこういうが、そうなるとこんな問題や矛盾がでてくるが、それをどう考えますか?

(自説をのべるのではなく、質問の形で問題を浮かび上がらせること)

④ まとめ

立論を再論するが、それまでの議論も踏まえてまとめられるとよい。

1-5 総括

[期末考査候補問題]：自分たちが調べた、もしくは取り組んだテーマに関して、600字の小論文を書く。